

第1回豊川市立地適正化計画専門部会

【議事要旨】

日時：平成28年3月30日（水）午後4時30分～5時10分

場所：豊川市役所 議会協議会室（本庁舎3階）

出席者：以下のとおり（敬称略）

区分	氏名	所属	分野
学識経験者	浅野純一郎	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系教授	都市計画
	松山明	中部大学工学部准教授	都市計画
各種団体	松下紀人	豊川商工会議所専務理事	商工業
	山口五月	豊川リサイクル運動市民の会会長	環境
	熊谷直克	豊川市農業委員会会長	農業
	河合美恵子	豊川防災ボランティアコーディネーターの 会代表	防災
	伊奈克美	特定非営利活動法人とよかわ子育てネット 代表理事	児童福祉
	大高博嗣	豊川市障害者（児）団体連絡協議会会長	障害者福祉
	平田節雄	豊川市介護保険関係事業者連絡協議会会長	高齢者福祉
公募	小林尚美	市民	
	近藤彰利	市民	
オブザーバー	神山孝彦	愛知県建設部都市計画課企画・調査グループ 主査（代理出席）	県職員
	杉浦政晴	愛知県東三河建設事務所企画調整監	県職員

1 専門部会の開会

2 議題

立地適正化計画について

- （事務局説明）資料及び参考資料に基づき説明

意見・質疑等の要旨	
意見 1	(委員長) 立地適正化計画と都市計画マスタープランとの関係について補足をお願いしたい。
	事務局 都市計画マスタープランは都市計画法に基づいて策定し、立地適正化計画は都市再生特別措置法に基づいて策定する。目指す方向性は同じである。立地適正化計画の対象区域は市街化区域内である。
意見 2	(委員) 将来人口について、どのような意図で社会移動なしの方の人口を選んだのか。社会移動ありだともっと人口が減少し、もっといろんな施設が成立できないと思う。
	事務局 豊川市の第6次総合計画では、定住人口の増加、交流人口の増加により、この社会移動なしより人口を減少させない、上ぶれの推計値を使っている。コンパクトシティ化を進めながら、総合計画の人口を求めていくため、それより低い社会移動なしの数値を使っている。社会移動ありだともっと厳しいデータが出ると思う。

3 その他

- 本日の議事録は、事務局で作成し、専門部会員及びオブザーバーにメール又は郵送する。
- 次回の第2回専門部会は7月を予定しており、詳細は部会長、副部会長と調整して連絡する。